

平成 25 年 2 月 14 日

報道関係各位

平成 24 年度 植生学会・日本自然保護協会シンポジウムのお知らせ

『岩手の海岸の自然再生に向けて～東日本大震災後の海岸植生の自律的再生と共存のために～』

植生学会、公益財団法人日本自然保護協会が主催する標記シンポジウムが 2 月 17 日（日）13 時からいわて県民情報交流センター「アイーナ」にて開催されます。

本シンポジウムは、津波が植生に与えた影響について報告し、海岸植生からみた被災地の自然再生について考えることを目的に開催されるものであり、本学教員（総合政策学部 講師 島田直明）も「大津波が岩手県の海岸植生・植物にもたらしたもの」と題し、岩手県立博物館 鈴木まほろ専門学芸員と共同で発表を行います。

聴講は無料ですので多くの方にご参加いただきたく、事前の周知についてよろしくお願いいたします。

また、当日の取材についても併せてお願い申し上げます。

記

1. 日 時：2013(平成 25) 年 2 月 17 日（日）1300－1600
2. 会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ：JR 盛岡駅西口），8 階会議室 803
<http://www.aiina.jp/access/access.html>
3. 定 員：150 名 聴講無料
4. 主 催：植生学会，公益財団法人日本自然保護協会
5. 後 援：環境省，岩手県，岩手県教育委員会，岩手県立大学，岩手生態学ネットワーク，NHK 盛岡放送局，岩手日報社，朝日新聞社盛岡総局，毎日新聞社盛岡支局，読売新聞東京本社盛岡支局
6. 問い合わせ・申し込み先：

「公益財団法人日本自然保護協会」あてにメール等でお申込ください。【当日受付も可能です】

e-mail：kaigan2@nacsj.or.jp（タイトルに「植生学会・日本自然保護協会シンポジウム」とお書きください）

Tel：03-3553-4101 Fax：03-3553-0139

≪講演内容等の詳細は裏面のチラシもしくはホームページ

<http://www.sasappa.co.jp/shokusei/#symposium> をご覧ください≫

【本件に関する問合せ先】 岩手県立大学 総合政策学部
講師 島田直明
TEL019-694-2738



〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子152-52 www.iwate-pu.ac.jp/

これは最も強固な形状といわれる「ハニカム構造」をモチーフに、県立大学と短大、大学院との結びつき、県民との強いつながりを表しています。
Copyright © 2011 IPU All Right Reserved.

平成24年度

植生学会・日本自然保護協会シンポジウム

岩手の海岸の自然再生に向けて

～東日本大震災後の海岸植生の自律的再生と共存のために～

聴講無料
当日受付

■講演

『日本の海岸植生とその成り立ち』

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 澤田佳宏

『津波被害により東北地方の海岸植生は破壊されたのか』

千葉県立中央博物館 原 正利

『市民調査によって明らかとなった海岸と植生の変化』

千葉県立中央博物館 山良 浩
日本自然保護協会 小此木宏明

『大津波が岩手県の海岸植生・植物にもたらしたもの』

岩手県立大学総合政策学部 島田直明
岩手県立博物館 鈴木まほろ

『三陸復興国立公園構想』

環境省国立公園課

『海岸植生の保全と再生に向けて必要な配慮』

植生学会企画委員会



■パネルディスカッション

2013年[平成25年]

2/17 日 13:00~16:00

■会場(岩手県盛岡市・盛岡駅西口徒歩1分)

**いわて県民情報交流センター
(アイーナ) 8階会議室 803**

主 催: 植生学会・公益財団法人 日本自然保護協会

後援予定: 環境省・岩手県・岩手県教育委員会・岩手県立大学・岩手生態学ネットワーク・NHK盛岡放送局
岩手日報社・朝日新聞盛岡総局・毎日新聞盛岡支局・読売新聞盛岡支局

■問い合わせ・申し込み先

公益財団法人 日本自然保護協会
TEL.03-3553-4101 FAX.03-3553-0139

mail: kaigan2@nacsj.or.jp

※タイトルに「植生学会・日本自然保護協会シンポジウム」とお書きのうえ、ご連絡ください。



※この事業は、平成24年度国土利用行政法人環境再生保全機構から環境再生基金の助成を受けて実施しています。